

第 2 回 水道施設情報整備促進事業委員会

2019年度活動報告及び次年度以降の活動について

1. 水道施設情報整備促進事業委員会

- ✓ 水道施設情報整備促進事業委員会の第一回を9月に開催致しました
- ✓ 水道標準プラットフォーム事業の概要説明、標準仕様改定に係るご提案、2020年度以降の標準仕様書の管理・事業委員会案のご説明の後、フリーディスカッションを行いました。

経済産業省 水道施設情報整備促進事業
第1回 水道施設情報整備促進事業委員会

<日時・場所>

2019年9月17日（火）14:00～16:00
都道府県会館 410会議室

<委員長（敬称略）>

東洋大学 大学院 経営学研究科
客員教授（名誉教授）石井 晴夫

<議事>

- (1) 水道標準プラットフォームに係る事業概要
- (2) 標準仕様書Ver2.0のVer3.0への改定に係る提案
- (3) 2020年度以降の標準仕様書の管理・事業委員会活動について
- (4) フリーディスカッション

委員・オブザーバー（敬称略）

<委員>

電気通信大学 教授
東京都市大学 教授
早稲田大学 准教授
一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会
八戸圏域水道企業団
大阪市水道局
大津市企業局
京都市上下水道局
長野県企業局
奈良市企業局
株式会社クボタ
株式会社パスコ
三菱電機株式会社
メタウォーター株式会社
横河ソリューションサービス株式会社
公益財団法人水道技術研究センター
公益社団法人日本水道協会
全国簡易水道協議会

<オブザーバー>

独立行政法人情報処理推進機構
<厚生労働省>
医薬・生活衛生局 水道課
<経済産業省>
商務情報政策局 情報産業課

新 誠一
長岡 裕
佐藤 裕弥
菅又 久直
古川 勲
西田 壮一
奥野 誠
藤井 啓祐
関 一規
中川 学
末吉 康則
北川 正巳
川田 卓嗣
下畑 隆二
田中 克知
清塚 雅彦
師岡 悟
小平 鉄雄

片岡 晃

2. 水道事業者ワーキンググループ

- ✓ 水道事業者様を対象に水道事業者ワーキンググループを全2回開催。
- ✓ 水道標準プラットフォームの普及・開発状況のご説明、水道事業者様のプラットフォーム導入の検討事例ご紹介などを行うとともに、水道標準プラットフォームに対する事業者様のご意見・ご要望などを頂きました。

経済産業省 水道施設情報整備促進事業
第1回 水道事業者ワーキンググループ

<日時・場所>

2019年10月4日（金）14:00～16:10
都道府県会館 410会議室

<議事>

- (1) 水道標準プラットフォームに係る事業概要
- (2) 先行事例の紹介
- (3) 水道情報活用システムの導入等に向けた取り組みについて
- (4) フリーディスカッション

<委員・オブザーバ（敬称略）>

水道事業者（16事業者）
公益財団法人水道技術研究センター
公益社団法人日本水道協会
全国簡易水道協会
厚生労働省 医薬・生活衛生局 水道課
経済産業省 商務情報政策局 情報産業課

経済産業省 水道施設情報整備促進事業
第2回 水道事業者ワーキンググループ

<日時・場所>

2019年12月17日（火）14:00～16:00
海運クラブ Room303

<議事>

- (1) 前回水道事業者WGの振り返り
- (2) 水道標準プラットフォーム説明会・個別相談会実施報告
- (3) 水道情報プラットフォームの開発状況報告
- (4) 水道標準プラットフォームの普及等状況報告
- (5) 水道事業者における検討状況の紹介
- (6) フリーディスカッション

<委員・オブザーバ（敬称略）>

第1回と同じ

3. ベンダー様との連携

- ✓ ベンダー様の水道標準プラットフォームへのご理解を深めていただくことを目的に、ベンダー様を対象とした説明会を全4回実施させていただきました。
- ✓ 説明会へのご参加、個別のお問い合わせなどを通じて計39社のベンダー様へ水道標準プラットフォームのご説明をさせていただきました。

No	開催日	主な議題	出席者（敬称略）
1	2019/7/22	✓ 水道標準プラットフォーム事業の概要説明 ✓ プラットフォームの開発内容説明	ベンダー（20社）
2	2019/10/11	✓ 委員会・WG活動のご説明 ✓ 標準仕様改定のご説明 ✓ サブワーキンググループ開催のご案内	ベンダー（28社） 厚生労働省 経済産業省
3	2019/11/13	同上（関西地区での開催）	ベンダー（16社） 水道技術研究センター
4	2019/12/26	✓ 標準仕様改定の内容説明と意見交換 ✓ その他連絡事項	ベンダー（30社） 厚生労働省 水道技術研究センター 経済産業省

4. 全国説明会

- ✓ 普及活動の一環として、水道事業者様を対象に、全国 7 か所で水道標準プラットフォームの概要説明と個別相談会を実施致しました。
- ✓ 116 の事業者様にご参加頂き、うち 60 事業者様に個別相談会へもご参加頂きました。

開催日	開催地	説明会 出席者	説明会 欠席者	説明会 出席事業者	説明会 欠席事業者	相談会 出席事業者
10月21日（月）	札幌	9	0	6	0	2
10月16日（水）	仙台	7	9	5	5（※）	5
10月25日（金）	東京	26	2	19	1	9
10月24日（木）	名古屋	27	3	21	0	10
10月29日（火）	大阪	71	2	39	0	21
10月30日（水）	広島	22	1	14	0	5
10月28日（月）	福岡	24	0	12	0	8
合計		186	17	116	6	60

※台風19号の対応の影響で欠席された事業者様であり、別途追加対応を行わせて頂きました。

5. サブワーキンググループ

- ✓ 水道事業者様やベンダー様の多様なニーズにこたえるため、テーマ別にサブワーキンググループを設置致しました。
- ✓ 現在、実施中のものを含め6つのテーマでの活動を予定しており、水道標準プラットフォームをより良いものとするよう来年度以降も継続して取り組んでまいります。

◆SWG1（マッピングシステム関係）→第4回まで開催

→マッピングシステムの「データ移行」・「データ流通」に関してプラットフォームでの実装内容を、事業者広域連携時のシステム連携を想定して整理をするもの

◆SWG2（料金・会計システム関係）→開催準備中

→料金・会計システムの「データ移行」・「データ流通」に関してプラットフォームでの実装内容を、事業者広域連携時のシステム連携を想定して整理をするもの

◆SWG3（統合・先進アプリ関係）→開催準備中

→ベンダー様の既存アプリケーションにはないものの提供を検討するもの（ベンダー様同士の連携や事業者とのマッチングも予定）

◆SWG4（コンサルタント関係）

→事業者様のプラットフォームの検討に関するご支援を水道関係のコンサル様とともに推進するもの

◆SWG5（IOT-GW関係）→第2回まで開催

→IoT-GWの開発・試験での連携検討するもの

◆SWG6（プラットフォーム活用）

→プラットフォームの活用について意見交換 個別の対応をベースに実施、ネットワークなどの関係調整含む
→標準仕様全体に関する会議

6. プラットフォーム開発

- ✓ 2月からデモ環境の提供を開始し、デモ環境設定済レンタルPCを期間限定無償貸し出しも開始致しました。
- ✓ 簡易台帳アプリケーションのデモ提供も開始致しました。
- ✓ アプリケーションベンダー様との連携も進めており、デモ環境にはアプリケーション提供予定ベンダーとして、7社様を先行して記載させて頂いております。

経済産業省 水道施設情報整備促進事業 「水道標準プラットフォーム」のデモ環境を2月から提供

水道事業の効率的かつ持続可能な運営は大きな社会的課題であり、人口減少・少子高齢化の進展の中、設備老朽化、職員数減少・技術断絶等に直面しています。こうしたなか、IoT技術を業務プロセスに導入するための標準化をはかり、IoT活用によるインフラ分野の運営効率化が期待されています。これらの背景を踏まえ、今年度本事業では、これまでの実証事業の成果の社会実装を行い、水道の基盤強化を図ることを目的として、この水道標準プラットフォームの構築等を進めております。

2020年4月から本格運用を開始する 水道標準プラットフォームのデモ環境をご利用頂けます。

1つのPCから複数アプリへアクセス可能

簡易台帳アプリのお試しが可能

デモ環境設定済み
PC・モバイルWiFiルータ(回線含む)をレンタル致します!

台数限定! 今なら先着で
2020年3月分までのPCレンタル料無償
※モバイルWiFiルータ費用(回線含む)はご負担いただきます。

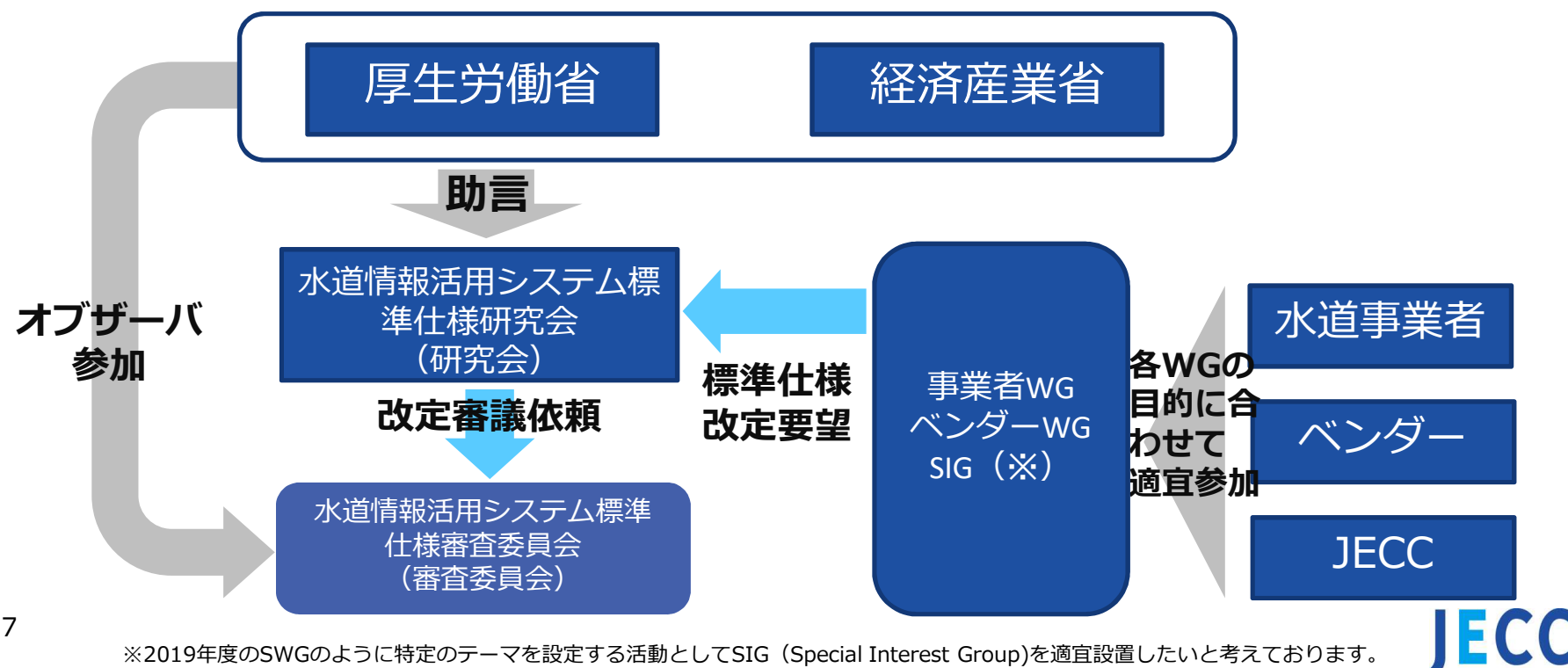
簡易台帳アプリケーションを
実際に操作頂けます!

【デモ画面記載のアプリケーション提供予定ベンダー様(敬称略、順不同)】
東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社、日本電気株式会社、
株式会社パスコ、株式会社BSNアイネット、株式会社明電舎、株式会社安川電機、
横河ソリューションサービス株式会社
※提供開始時期については別途決定してまいります。

水道標準プラットフォームポータル画面
株式会社 JECC 本社

7. 2020年度以降の活動体制（案）

- ✓ 次年度以降も透明性・公平性・中立性を保持した活動を進めてまいります。具体的には、WGとSIG（今年度のSWGに準ずる活動）を中心に、水道事業者様やベンダー様のご意見・ご要望を取り纏め、水道標準プラットフォームをより良いものにしていきたいと考えております。
- ✓ これら活動においては、次年度以降も引き続き、厚生労働省様、経済産業省様にも、ご支援・ご助言頂くことで、透明性・公平性・中立性の保持を担保してまいりたいと考えております。



8. ワーキンググループ活動のイメージ

- ✓ 次年度以降のワーキンググループは、事業者WG、ベンダーWG、SIGの3つを中心とした活動を中心に考えております。
- ✓ 事業者WG、ベンダーWGで水道標準PFに対するご意見・ご要望を広く頂戴し、これらWG等で挙げた集中的に議論すべきテーマをSIGで取り扱うことを想定しております。

事業者WG

水道事業者様からの水道標準PFのサービスに対するご意見・ご要望を広く頂戴することを目的に年2回程度の定期開催を想定しております。

ベンダWG

水道ベンダー様から技術面を中心とした標準仕様等、水道標準PFに対するご意見・ご要望を頂戴することを目的に、必要に応じて適宜開催することを想定しております。

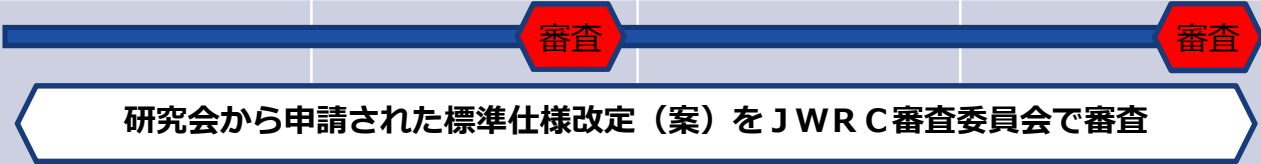
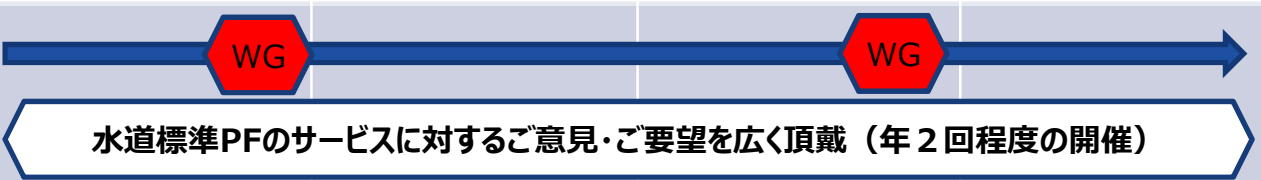
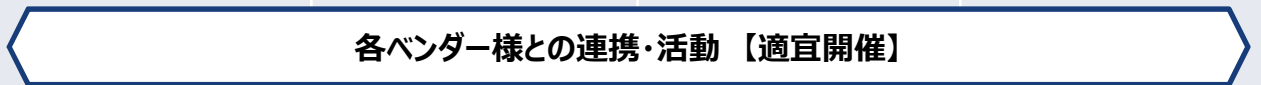
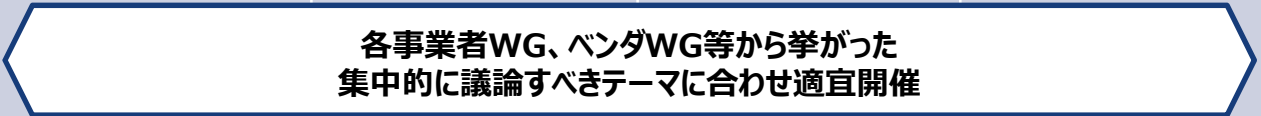


集中的に議論すべきテーマなどあれば、必要に応じSIGを設置

SIG

事業者WG、ベンダWG等で挙げた集中的に議論すべきテーマを取り扱います。テーマに応じて、水道事業者様、ベンダー様にご参加頂くことを想定しております。

9. 活動スケジュール予定

#	活動内容	2020/1Q	2020/2Q	2020/3Q	2020/4Q
A	水道情報活用システム標準仕様審査委員会				
B	水道情報活用システム標準仕様研究会				
C	個別の活動（事業者WG）				
D	個別の活動（ベンダーWG）				
E	SIG				
F	その他普及活動	